

2 教育 令和2年度10月期学生表彰式を挙行 —優れた学術研究・課外活動の成果を称えて—

11月19日(木)、令和2年度10月期学生表彰式を開催しました。
この表彰は、学術研究等の成果が優れている学生、課外活動の成果が特に顕著である学生、社会活動において優れた評価を受けた学生、その他表彰に値すると認められた学生を表彰する制度です。今回は個人表彰5名および団体表彰1団体に対して坂井貴文学長から表彰状が授与され、学生後援会より記念品が贈呈されました。



▲リモートで参加した受賞者



▲坂井学長(前列中央)と受賞者ら

3 教育 【JR東日本大宮支社×埼玉大学】 埼大生考案のポスターで JR東日本アプリをアピール!

JR東日本大宮支社と埼玉大学は、埼玉大学周辺地域の魅力づくりや、埼玉県を中心としたJR東日本沿線の活性化、次世代の地域づくりを担う人材育成に向けた包括的連携協定を締結しており、その取り組みの一つとして大宮駅でのデジタルサイネージ放映や埼京線各駅でのポスター掲示を行っています。

2020年12月は、埼玉大学とJR東日本大宮支社が連携して開講している「課題解決型長期インターンシップ」にて学生が考案した「JR東日本アプリ」を訴求するデジタルサイネージを放映。アプリ機能の1つである「リアルタイム混雑情報提供サービス」に着目し、前面に押し出したものとなっています。



▲同内容のポスターが埼京線・川越線の各駅に掲示されました。

4 学生 坂井学長が陸上競技部を激励

11月5日(木)、陸上競技部の学生と坂井学長との懇談会が行われました。
この懇談会は、10月17日(土)に行われた第97回箱根駅伝の予選会に出場した選手を労うべく学長の提案で開催されたもので、まず主将を務める学生より、陸上競技部の歴史や活動内容の説明、予選会の報告がありました。それを受けて、坂井学長からは、「コロナ禍で通常の練習ができない中、埼玉大学を盛り上げてくれてありがとう」と感謝の言葉が述べられました。

過去には、1959年(昭和34年)開催の第35回箱根駅伝に出場したことのある埼玉大学。現在は、今回の予選会にも出場することを目標に掲げる陸上競技部ですが、いつかまた本戦に出場できるよう、これからも応援していきます!



▲懇談会の様子



▲箱根駅伝予選会に出場した選手と坂井学長(前列中央)ら

5 男女 共同参画 第12回ダイバーシティ推進室講演会を開催

11月11日(水)、ジャーナリスト・和光大学名誉教授 竹信三恵子氏を講師に迎え、「コロナ禍が浮き彫りにした家事労働ハラスメントの闇」をテーマに、第12回ダイバーシティ推進室講演会をオンラインで開催しました。当日は、教職員、学生など約70名の参加がありました。

講演では、コロナショックで顕在化した「女性が低賃金で様々な役割を担うことで成り立っている社会のしくみ」に関する国連女性機関事務局長の声明の紹介をはじめ、家事労働ハラスメントの現状や女性の雇用減少の背景につい

での説明があり、公的なセーフティネットの対応不備等による女性、非正規労働者を巡る問題がコロナ禍でより深刻になったと述べられました。

多くの参加者にとって家事労働ハラスメントをはじめとした、非正規労働者を巡る課題を学ぶ有意義な時間となりました。



埼玉大学マスコットキャラクター
メリンちゃん
(ダイバーシティ仕様)

6 国際 **さいたま市立浦和高等学校グローバルセミナーに 本学留学生が講師として参加!**

11月30日(月)に本学留学生が、さいたま市立浦和高等学校第1学年の生徒たち約320名と行ったグローバルセミナーについてご紹介します。

例年、交換留学生を中心とした本学留学生たちが、直接高等学校へ赴いてセミナーを実施していましたが、今年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、初のオンライン開催となりました。

SDGsのテーマに沿ったプレゼンテーションを高校生と留学生がそれぞれ行い、さらにお互いのプレゼンテーションに対してディスカッションをするなど、交流を図りました。



▲講師を務めた留学生



▲Zoom上での交流の様子

7 国際 **「埼玉学のすすめ」オンライン スタディツアーを開催しました!**

11月28日(土)、県内在住・在学の外国人留学生20名と日本人学生9名が、「埼玉」をより良く知るための「埼玉学のすすめ」オンラインスタディツアーに参加しました。

本年度のテーマは「環境問題」。当日は、埼玉県環境科学国際センター・温暖化対策研究員の原政之氏と、大宮盆栽村にある清香園・盆栽師の石原誉大氏をお迎えし、埼玉県内で起こっている環境の変化と対策についての講義とディスカッション、ミニ盆栽の植付体験を、Zoomを通して実施しました。また、事前オリエンテーションでは、留学生と打ち解けるためのゲームを日本人学生が企画し、交流を楽しみました。

今回はオンライン開催となりましたが、学生達はいつか直接会うことを約束し、ツアーを終えました。



▲本学からも留学生が参加しました



自分で植えた盆栽と記念撮影▶

8 研究 **令和2年度学長表彰 表彰式を開催しました**

11月13日(金)、令和2年度学長表彰 表彰式を開催しました。学長表彰は、職務に顕著な功績があった教職員や社会的な功績があった教職員を表彰することを目的として平成29年度に創設した制度です。このたびの表彰では、教育・研究活動に顕著な功績があった教員に「学長賞」、「学長奨励賞(教育・研究)」、「学長特別賞(みずき賞)」が授与されました。

式では、坂井学長から各受賞者に対し、表彰状及び副賞が授与されました。坂井学長はあいさつで、今年度、賞創設後初めての「学長賞」の授与となることに触れた後、研究・教育分野における各受賞者の功績を称え、「教育・研究により一層頑張ってください」と激励しました。



前列左より、学長奨励賞の綿貫啓一教授、学長賞のRichard Neal Bez准教授、坂井学長、学長奨励賞の水野毅教授、学長特別賞の長谷川有貴准教授
中列左より、学長奨励賞の加藤拓巳講師、石川寿樹准教授、姜東赫准教授、斎藤健志助教、山田洋平助教
後列左より、伊藤情報メディア基盤センター長、馬経済学部長、重原理事、柳澤理事、西井理事、石井理学部長、福島総務部長

9 研究 日本の人事部「HRアワード2020」最優秀賞を受賞

大学院人文社会科学部 宇田川元一准教授が執筆した書籍「他者と働く——「わかりあえなさ」から始める組織論」が、日本の人事部「HRアワード 2020」書籍部門において最優秀賞を受賞しました。HRアワードは、人事やHRソリューションの領域において、独創性や先見性、社会性などの点で優れた取り組みを広く伝えることで、人事を通じた全国の企業の成長を目指す表彰制度です。宇田川准教授は、著書の中で組織内の対立に向き合う視点や具体的な手段を示し、高く評価されました。



▲宇田川准教授



10 研究 サントリー SunRiSE生命科学研究者支援プログラムに採択されました

大学院理工学研究科 豊田正嗣准教授が、サントリー SunRiSE生命科学研究者支援プログラムに採択されました。このプログラムは、公益財団法人サントリー生命科学研究財団が「分子を中心に据えた生命現象のメカニズムの解明」に関連する独創性、先駆性の高い課題を企画・推進する大学等の若手研究者を支援し、日本の将来の基礎研究分野を先導する人材を育成することを目的としています。



▲豊田准教授



▲授与された認定書

11 地域 2020年度公開講座 開催報告

埼玉大学では例年、教育・研究の成果を広く発信し社会貢献を果たすため、地域や一般の方々から自由に参加できる公開講座、イベントを開催しております。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、連続市民講座とミュージアム・カレッジは中止とさせていただきますが、その他の公開講座についてはZoom等を用いたオンライン形式や十分な感染症対策をとったうえでの対面形式で行い、多くの方々にご参加いただきました。

2021年度も様々な講座を開催いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

2020年度 埼玉大学公開講座等の開催状況

埼玉大学連続市民講座	開催中止
経済経営系大学院コミュニティ・カレッジ	オンラインセミナーとして開催
埼玉大学経済学部市民講座	募集人数を縮小して開催
ミュージアム・カレッジ	開催中止
埼玉大学ウェブセミナー 「新しい生活様式への挑戦 ～感染症と共存する社会とは～」	新規開催

埼玉大学基金室より 埼玉大学修学サポート基金のご案内

いつも埼玉大学基金へのご理解とあたたかいご支援をいただき、ありがとうございます。

今回は、埼玉大学修学サポート基金のご紹介をさせていただきます。

埼玉大学修学サポート基金は、経済的な理由により修学に困難がある学生に対する支援を行うことを目的として、埼玉大学基金内に置かれる特定基金として平成28年末に設立したものです。

このたびの新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本学では、家計急変により生活が困窮し、学生生活に支障をきたす学生に対して「埼玉大学修学サポート基金」を活用した本学独自の奨学金「埼玉大学緊急支援奨学金」を設立しました。2020年5月1日より学内外に幅広く寄附を募り、多くの皆さまよりご支援を賜り、6月3日に1,604人(在学生全体の約19%)の学生に給付することができました。皆さまからの多大なるご支援に改めて御礼申し上げます。新型コロナウイルスの影響により、学生生活に支障をきたすことがないよう募集を継続して行っております。引き続き、本学へのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

この埼玉大学修学サポート基金に個人の方からいただいた寄附金については、所得税の寄附金控除を申告される際に、所得控除か税額控除のいずれかを選択可能です。税額控除は多くの場合において、減税効果が高いことが特徴です。

詳細は下記ホームページから「埼玉大学基金の目的」及び「税制上の優遇措置」をご覧くださいませますようお願いいたします。

今後とも埼玉大学基金へのご理解とご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

埼玉大学修学サポート基金の使途

授業料・入学科減免事業

奨学金事業

海外留学支援事業

T・A・R・A事業※

埼玉大学緊急支援奨学金

新型コロナウイルス感染拡大により生活が困窮した学生への支援

※学生の資質を向上させることを主たる目的として、学生を教育研究に係る業務（TA：ティーチング・アシスタント、RA：リサーチ・アシスタント）に雇用するために係る経費に充てられます。

埼玉大学基金のご報告

令和3年1月末の状況 **562,824,454円**

うち古本募金「きしゃぼん」によるご寄附 **1,036,539円**

埼玉大学基金室(広報渉外室内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp 🌐http://www.saitama-u.ac.jp/funds/
古本募金「きしゃぼん」についてはホームページの「お申し込み方法」(http://www.saitama-u.ac.jp/funds/pay/)の「3.古本募金」からもご覧ください。

